

2023年度(令和5年度)

事業報告書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)



TCM

学校法人東京音楽大学

事業報告書目次

I. 法人の概要

1. 法人の理念等・目的	1
(1) 創設の理念と建学の精神	
(2) 東京音楽大学の教育目的等	
(3) 東京音楽大学ビジョン	
2. 設置学校	4
3. 沿革	4
4. 学校組織図(教育・研究組織)	6
5. 法人・事務組織図	6
6. 役員・評議員の概要	7
7. 設置学校の入学定員・収容定員・学生数	8
8. 教職員数	9

II. 事業の概要

1. はじめに	10
2. 第Ⅱ期中期計画、事業計画への対応状況	11
(1) 東京音楽大学	11
① 大学の使命・目的	11
② 内部質保証の推進	11
③ 教育の内部質保証	11
④ 学生募集	11
⑤ 学生支援	12
⑥ 研究及び研究支援	12
⑦ 教員・職員	13
⑧ 地域連携・社会貢献活動	13
(2) 付属高等学校	14
(3) 付属幼稚園	15
(4) 学校法人運営	16
① 法人経営	16
② 財務基盤	16
③ 運営基盤	16
④ 監査機能	16
⑤ 施設環境の整備	16
⑥ 環境保全、人権、安全への配慮	17
⑦ 法令遵守	17
⑧ 情報公開	17
3. その他	18

Ⅲ. 財務の概要

1. 決算の概要	19
(1) 貸借対照表の状況	19
(2) 収支計算書の状況	21
2. 基本金明細表・主な財務比率	27
3. 財産目録	28

Ⅳ. 資料

1. 公的研究費等獲得一覧	i
2. 演奏会記録	iii
3. 国際交流センター催事一覧	vi
4. キャリア支援センターイベント実績	vii
5. 付属図書館に関する資料	viii
6. 民族音楽研究所催事等一覧	xi

I. 法人の概要

1. 法人の理念等・目的

(1) 創設の理念と建学の精神

東京音楽大学は、鈴木米次郎により1907年に創設された東洋音楽学校を前身とする、我が国で最も古いルーツを持つ私立音楽大学である。1963年に4年制大学として認可され、1969年に東京音楽大学と名称変更し、1993年に大学院音楽研究科修士課程、2014年に博士後期課程を設置し、現在に至っている。

創設者の鈴木米次郎は常々「音楽を通して社会に貢献する」ことの重要性を説き、私立学校設立認可願に学校の設立目的を「汎ク音楽ニ関スル学科及術科ヲ教授シ以テ高潔ナル品性ノ修養ヲ得セシムルニアリ」と記している。すなわち鈴木が目指したのは、音楽に関する学問的探求と高度な音楽技量の修得を通じて教養豊かな音楽人を育成すること、それによって社会に貢献すること、さらには東洋（東京）にあって西洋音楽と東洋音楽を幅広く学べる拠点を提供することであった。鈴木はその考えを、創設当初から修業年限を東京音楽学校（現・東京藝術大学）と同じ3年（他の私立音楽学校は1～2年）とすること、視覚障がい者のための点字楽譜を開発すること、清国留学生を積極的に受け入れること（これら留学生は中国における西洋音楽教育普及に尽力した）、雅楽を指導科目に取り入れること、卒業生を「船の楽士」として太平洋航路の客船に乗船させること等を通して実践していた。

今日、この創設者の志は、東京音楽大学の建学の精神と理念「アカデミズムと実学の両立」「音楽による社会貢献」「国際性」として明文化されている。

東京音楽大学では、これらの建学の精神に基づき、第一線で活躍する教授陣による最高レベルの音楽教育を展開し、国内外の著名なコンクールやオーディションなどの入賞者・合格者を多数輩出するとともに、音楽業界、教育業界、さらには音楽以外の実業界において広く社会に貢献しうる優れた人材を送り出している。また、付属高等学校及び付属幼稚園においては、大学の教育研究資源を活用した連携教育を行い、高等学校においては思考力・表現力・判断力、幼稚園においては人間性・社会性の基礎の涵養に努めている。

(2) 東京音楽大学の目的等

学校法人東京音楽大学寄附行為には、目的が次のように規定されている。

第3条 この法人は、教育基本法、学校教育法及び私立学校法に従い音楽芸術を核とする学校教育を行い、音楽の学びを通して培われた専門性を活かして社会の発展に寄与する人材を育成することを目的とする。

東京音楽大学学則には、設置目的、教育目的が次のように規定されている。

第2条 本学は、教育基本法に則り、広く一般教育の知識を授けるとともに、音楽の専門教育を行い、これを通じて人格の完成をはかり、もって有為な音楽家を育成することを目的とする。

第2条の2 本学は、音楽芸術の研鑽を通じて、高度な専門性を有した音楽家、音楽教育者を育成する。また、自らの音楽的個性とともに幅広い教養を備え、現代社会の様々な局面に対応しうる人材を育成することを教育目標とする。

東京音楽大学大学院学則には、次のように規定されている。

第2条 本学大学院は、広い視野に立って、音楽に関する精深な学術と技能を修得させ、音楽専攻分野における研究能力と高度な専門性を有する職業等に必要とされる能力を養い、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与することを目的とする。

(3) 東京音楽大学ビジョン

近年、大学を取り巻く環境が様々に変化する中、迅速かつ柔軟に対応することが求められており、本学が目指すべき方向性や将来像を明確にし、本学の社会における存在意義や基本的な使命を示すため、「東京音楽大学ビジョン」を、2019年1月11日次のとおり策定した。

東京音楽大学ビジョン

— 音楽文化の新たな地平を拓く —

東京音楽大学は、1907年の開学以来、建学の精神である「音楽を通して広く社会に貢献できる人材の育成」を目標に、演奏活動を通じて海外協定機関等との緊密で多様な音楽文化の交流を育みながら、演奏力を安定的に発展、成熟させるとともに、教育研究の世界展開に多くの成果を挙げてきました。

本学は、急速な技術革新やグローバル化が進展する現代社会にあって、伝統を継承しつつ、常に新たな教育と研究の道を模索してきました。2017年4月には、音楽を柱に、教養と英語の能力も身につけて世界のあらゆる分野で活躍できる人材を育成する「ミュージック・リベラルアーツ専攻」を開設し、2019年4月には、新たに「中目黒・代官山キャンパス」を開校するとともに、「吹奏楽アカデミー専攻」を開設するなど、教育研究の質の飛躍的向上と充実に取り組んで参ります。

新しい時代に向けて音楽文化を創造し、音楽により、また音楽を通して、急激に変化する社会の様々な要請や期待に応えていくことを目指して、「東京音楽大学ビジョン」を定めました。

1. 全学を挙げた先進的な活動により、音楽文化の新たな地平を拓きます。

音楽は、人間の感性に直接働きかける力を持ち、あらゆる境界を越えて広がっていく可能性を秘めています。

本学は、先進的な教育、研究及び社会貢献等を基盤として、人の心を自由にし、豊かな未来を実現する音楽文化の新たな地平を拓きます。

2. 変化し続ける社会を見据えて、音楽で感動を与え、音楽で明日をつくる人材を育成します。

急速な技術革新やグローバル化等により絶えず変化する社会にあって、音楽大学には、演奏や音楽活動を通して人びとに感動を与え、その精神を崇高にし、多様な価値観を受け止められる感性を有する人材の育成が求められます。

本学は、学生一人ひとりが音楽に関する高度で専門的な知識・技術とともに豊かな教養を身につけ、西洋・東洋の枠を超えた多様な音楽文化や、音楽とITを融合する最先端の分野等についても多角的な視点を持った人材を育成し、社会のニーズに応えます。

大学院教育については、その質の格段の向上と、未来を牽引する人材を育成する観点から、教育研究組織の改編を含め抜本的な改革を推進し、その進化を図ります。

3. 音楽文化の多角的な研究を展開し、広く成果を発信します。

音楽文化の多様化、複雑化が進む現代において、未来を切り拓く多彩なアプローチによる音楽文化に関する研究や、本学の強みである演奏法や指導法の開発を推進し、異分野の研究者との共同研究を組織的に展開します。これらの最新の研究成果を教育に反映するとともに、世界に発信します。

また、附属民族音楽研究所においては、アジア音楽の研究拠点として創造的な研究を推進します。

4. 双方向の国際交流を活発化し、多文化が共存するキャンパスを目指します。

グローバル化が進展する中で新たな音楽文化を創造するには、歴史とともに社会をよく知ることが求められ、多文化が共存するキャンパスであることが不可欠です。

多様な価値観を尊重することの重要性を踏まえ、教職員、学生及び教育研究等について双方向の国際交流を活発化するとともに、多様な背景を持った人の受入れを積極的に推進します。

これらを通して国際性に富んだ人材を育成するとともに、国際交流推進のための環境整備を図ります。

5. 鋭意音楽活動を展開し、地域社会の活性化、文化力の向上に積極的に貢献します。

音楽活動を通じて地域社会から求められる社会貢献活動を行い、地域社会の活性化及び文化力の向上に貢献します。

そのため、地域社会に開かれた大学として、自治体、音楽関係団体、音楽コミュニティ、さらに校友会等との連携及び協働によるコンサート、公開講座、ワークショップ、音楽祭等を活発に展開します。また、自治体、産業界、音楽コミュニティ等の要請により本学の学生及び教職員を積極的に派遣し、魅力ある地域づくりに貢献します。

6. クリエイティブ・キャンパスを創出・運営し、構成員が自ら成長し続ける大学を実現します。

本学は、2019年4月に中目黒・代官山キャンパスを開校し、従来の池袋キャンパスとの連携の下、機能性、創造性、知的生産性、安全性及びICT環境等を備えた「クリエイティブ・キャンパス」を創出・運営して、教育研究の質の一層の向上を図るとともに、教職協働による働き方改革を積極的に推進し、教職員及び学生が自ら成長し続ける大学を実現します。

また、附属高等学校を池袋キャンパスに移転統合して実効性のある高大接続改革を推進します。

そのため、大学の将来を見据えた経営戦略に基づく財務計画を策定し、中長期的な財政基盤の確立を図ります。

2. 設置学校

(1) 東京音楽大学

音楽学部	音楽学科	器楽専攻、声楽専攻、作曲指揮専攻、 音楽文化教育専攻、ミュージック・リベラルアーツ専攻、 吹奏楽アカデミー専攻
大学院音楽研究科(修士課程)		器楽専攻、声楽専攻、作曲指揮専攻、音楽文化研究専攻
大学院音楽研究科(博士後期課程)	音楽専攻	

(2) 東京音楽大学付属高等学校

音楽科	声楽専攻、器楽専攻、作曲専攻、音楽総合コース
-----	------------------------

(3) 東京音楽大学付属幼稚園

3. 沿革

【明治】

1907年(明治40年) 5月 東洋音楽学校設立(神田区)

【大正】

1924年(大正13年) 11月 豊島区雑司ヶ谷(現南池袋)に移転

【昭和】

1947年(昭和22年) 5月 財団法人東洋文化学園と改称

1949年(昭和24年) 3月 東洋高等学校(音楽科)開設

1950年(昭和25年) 2月 東洋幼稚園開設

1951年(昭和26年) 3月 学校法人東洋文化学園認可

1954年(昭和29年) 2月 東洋音楽短期大学設置認可

1963年(昭和38年) 2月 東洋音楽大学設置認可

1969年(昭和44年) 8月 名称変更認可

- ・学校法人東洋文化学園を学校法人東京音楽大学に改称
- ・東洋音楽大学を東京音楽大学に改称
- ・東洋高等学校を東京音楽大学付属高等学校に改称
- ・東洋幼稚園を東京音楽大学付属幼稚園に改称
- ・東洋音楽学校を東京音楽学校に改称

1970年(昭和45年) 3月 東洋音楽短期大学廃止認可

1976年(昭和51年) 7月 東京音楽学校廃止認可

【平成】

1993年(平成5年) 3月 東京音楽大学大学院音楽研究科修士課程設置認可

2007年(平成19年) 5月 創立100周年を迎える

2014年(平成26年) 4月 東京音楽大学大学院音楽研究科音楽専攻博士後期課程開設

2017年(平成29年) 4月 東京音楽大学音楽学部音楽学科ミュージック・リベラルアーツ専攻開設

2019年(平成31年) 4月 中目黒・代官山キャンパス開校
東京音楽大学音楽学部音楽学科吹奏楽アカデミー専攻開設

【令和】

2020年（令和2年） 4月 東京音楽大学附属高等学校池袋キャンパス開校
東京音楽大学音楽学部音楽学科音楽文化教育専攻改編
東京音楽大学大学院音楽研究科修士課程音楽文化研究専攻改編

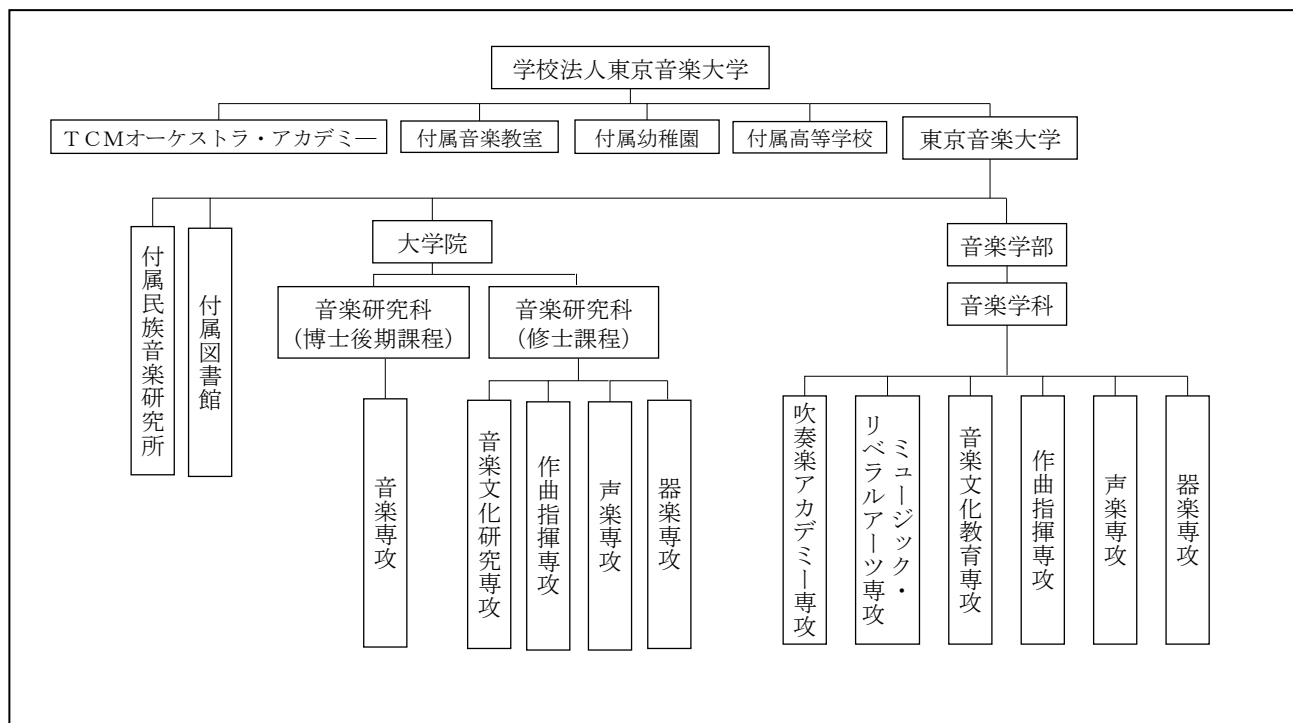
2021年（令和3年） 4月 東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻の3コース（作曲「映画・放送コース」、「ポピュラー・インストゥルメンツコース」、「ソングライティングコース」）を作曲「ミュージック・メディアコース」に改編

2022年（令和4年） 2月 TCM学生寮竣工



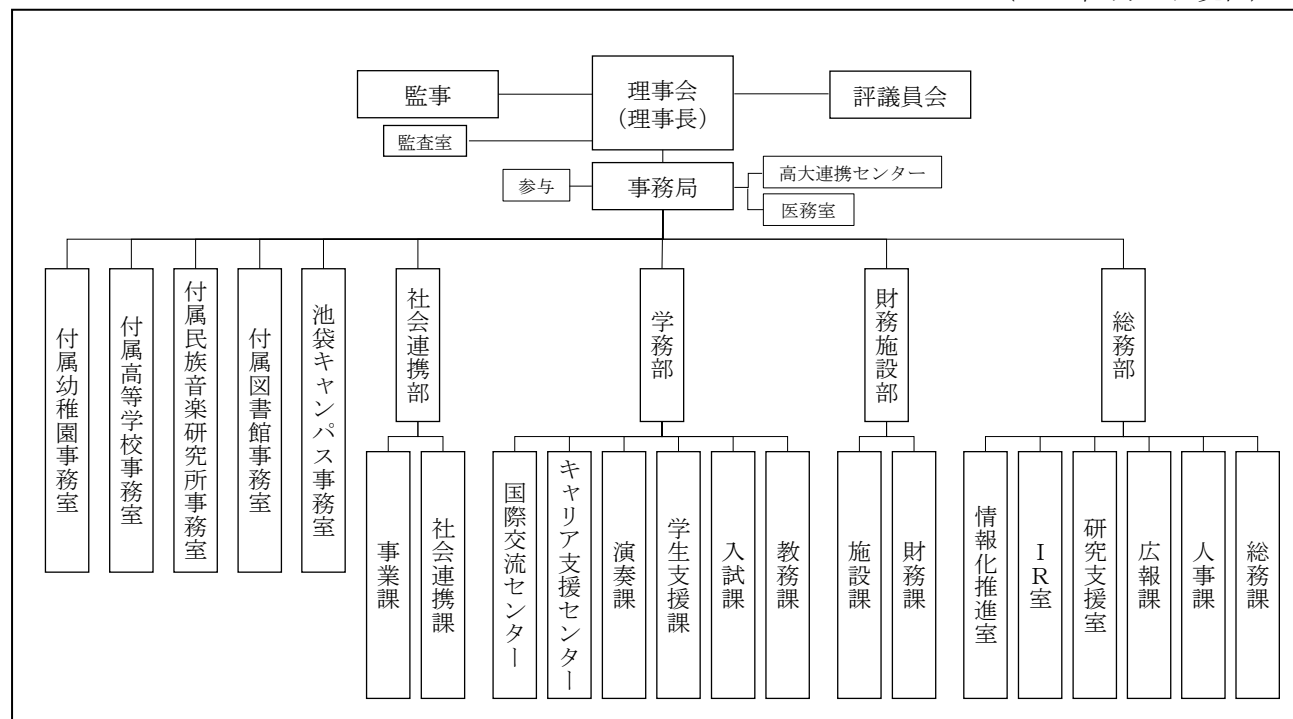
4. 学校組織図(教育・研究組織)

(2024年3月31日現在)



5. 法人・事務組織図

(2024年3月31日現在)



6. 役員・評議員の概要(2024年3月31日現在)

役 員	理 事 長	丸山 恵一郎			
	理事・学長	野平 一郎			
	理 事	高祖 敏明	保倉 裕	福島 啓充	
		池田 千絵	武石 みどり	佐藤 敏明	
	監 事	船戸 輝久	陶山 嘉代		
評議員	池田 千絵	石井 克典	大谷 康子	岡田 敦子	
	勝島 壮介	釜洞 祐子	神谷 百子	小森 輝彦	
	坂崎 則子	佐藤 敏明	武石 みどり	豊永 聡美	
	中西 雅子	藤田 茂	藤田 義明	外園 祥一郎	
	丸山 恵一郎				



設置学校の入学定員・収容定員・学生数

(2023年5月1日現在)

(1) 大学

入学定員 310

収容定員 1240

音楽学部		学生数		2023年度 入学者数
		男	女	
音楽学科	1371	295	1076	318
器楽専攻	872	177	695	212
声楽専攻	195	22	173	42
作曲指揮専攻	104	55	49	23
音楽文化教育専攻(3、4年生は音楽教育専攻)	49	10	39	6
ミュージック・リベラルアーツ専攻	97	10	87	19
吹奏楽アカデミー専攻	54	21	33	16

(2) 大学院修士課程

入学定員 70

収容定員 140

研究科		学生数		2023年度 入学者数
		男	女	
音楽研究科	190	54	136	88
器楽専攻	101	27	74	48
声楽専攻	51	9	42	21
作曲指揮専攻	17	13	4	8
音楽文化研究専攻	21	5	16	11

(3) 大学院博士後期課程

入学定員 3

収容定員 9

音楽研究科		学生数		2023年度 入学者数
		男	女	
音楽専攻	16	6	10	2

(4) 付属高等学校

入学定員 70

収容定員 210

東京音楽大学付属高等学校		生徒数		2023年度 入学者数
		男	女	
	172	36	136	51

(5) 付属幼稚園

入学定員 50

収容定員 150

東京音楽大学付属幼稚園		園児数		2023年度 入園児数
		男	女	
	137	65	72	51

8. 教職員数

(2023年5月1日現在)

	専 任						兼 任						合 計	研 究 員	事 務 局	総 計
	教 授	准 教 授	講 師	研 究 員	そ の 他	計	客員教授 特任教授 特別招聘 教授	兼任客員 准教授	客員講師 特任講師 特別招聘 講師	助 教	助 手	計				
ピアノ	4	8	9			21	12		51			63	84	8		92
弦	8	1	1			10	13	1	18		1	33	43			43
管・打	7	2				9	11	3	32		6	52	61			61
バロック等							1		4			5	5			5
邦楽									4			4	4			4
声楽	7	5	5			17	2	3	29	1	14	49	66	13		79
作曲	6	3	5			14	14		20		1	35	49			49
指揮	1					1	3		11	5	26	45	46	4		50
ソルフェージュ		3				3	2		8		3	13	16			16
音楽文化教育		2				2	1	1	8			10	12			12
ミュージック・リハビリアーツ							7		5			12	12			12
吹奏楽アカデミー	2		1			3	5		16		1	22	25			25
教職課程	2	2	1			5	3		12			15	20			20
音楽学	4					4			7	1		8	12			12
外国語	1	1				2	1		19			20	22			22
教養科目	4	3				7	2		10			12	19			19
事務局															78	78
合計	46	30	22	0	0	98	77	8	254	7	52	398	496	25	78	599
大学院							3		6			9	9			9
民族音楽研究所	1					1	2	1	6			9	10	2		12
高校			1		11	12			34			34	46		2	48
幼稚園					13	13	1		7			8	21		1	22
音楽教室									13		2	15	15			15
総計	47	30	23	0	24	124	83	9	320	7	54	473	597	27	81	705

Ⅱ. 事業の概要

1. はじめに

学校法人東京音楽大学は、「第Ⅱ期中期計画（2022年4月～2027年3月）」の2年目となる2023年度、「教育の内部質保証」を事業計画の重要な柱として位置付けた。ポストコロナの多様な価値観が交錯する現代社会において、高度な音楽教育の実践に留まらず、自ら考え、主体的に行動できる社会の担い手を育成するための学修機会を提供するため、既専攻のカリキュラム改編及び新専攻の開設を始めとする各種改革を実施した。

また、大学の改革に呼応し、付属高校においても一層の基礎学力強化を主眼とするカリキュラム改編を実施し、教育プログラムの充実を図った。

新学長のリーダーシップの下で実施したこれらの改革は、高大共に2024年度入学者数の増加という形で一定の評価を得ることができた。引続き、学生・生徒が学修成果を実感できる学修者本位の教育の実現を図るため、教職員が一丸となって取り組んでいく。

一方、第Ⅰ期「学校法人東京音楽大学中期目標・中期計画」（平成28年4月1日～平成34年3月31日）」から継続する池袋キャンパス整備計画は最終段階を迎えることとなった。付属幼稚園及び付属図書館を擁する池袋キャンパス校舎の耐震改修工事に着手し、2023年度は付属図書館の改修工事がほぼ完了した。これにより、教育研究環境の整備がさらに一歩前進した。

本学は、2025年4月の改正私立学校法施行を見据え、寄附行為の改正作業と共に法人組織におけるガバナンス体制の強化を検討している。改正法の趣旨をふまえつつ、法人の意思決定が円滑に行えるよう、理事会及び評議員会にとって最適な関係構築を図ることとする。

予測困難な時代において、音楽大学の存在意義があらためて問われているが、本学は既成概念に捉われることなく改革を進め、学生から選択される教育・研究機関であり続けていく。

2. 第Ⅱ期中期計画、事業計画への対応状況

1. 東京音楽大学に関する計画

① 大学の使命・目的

多様な価値観を包摂した現代社会における本学の存在意義及び基本的使命・目的を見直す事業の一環として、「教育目的」を現代的な視点から再検討する小委員会を設置した。

② 内部質保証の推進

- 1) 学長直下の内部質保証推進委員会が、2023年度以降の自己点検・評価の実施方針及びスケジュールについて審議、決定した。
- 2) 教職課程委員会が、2022年度から義務付けられた教職課程の自己点検・評価を実施し、報告書を作成した。

③ 教育の内部質保証

- 1) 教学マネジメント会議において、セメスター制導入における成績評価のあり方、全学的なキャリア教育の充実、次年度カリキュラムの検討などを行った。
- 2) 教学改革として以下の3点を実施した。
 - ・教養科目及び外国語科目の改編：教養科目ではアカデミックスキルの基礎を身に付けるための「教養演習」を1年次必修科目とし、2023年度から実施。外国語科目については科目の再編などを決定し、2024年度から実施する。
 - ・音楽文化教育専攻のカリキュラム改編：音楽や音楽文化の学修の視点を、「芸術としての音楽」「現代社会と音楽」「多様性の中の音楽」「音楽と教育」の4つに拡充し、多様な学びを提供するカリキュラムを策定し、2024年度学生募集を行った。
 - ・新専攻の開設準備：専門教育の新分野として、音楽に加えてICTを専門的に学ぶミュージックビジネス・テクノロジー専攻（MBT）の開設に向けて準備を進め、2024年度学生募集を行った。
- 3) 教学分野の国際化推進のために、本年度はチューリヒ芸術大学、インドネシア芸術大学ジョグジャカルタ校と学術交流協定を締結した。また、学則改正により、海外の大学等における修得単位を本学において修得したものとみなすことを明文化した。

④ 学生募集

- 1) 入試種別（総合型、学校推薦型、一般）ごとの募集定員の明確化と共に、総合型選抜における募集対象の拡大、入試科目の見直し等が功を奏し確実な入学者獲得へとつながった。

- 2) 留学生獲得のため、オープンキャンパス時に留学生相談ブースを設置、英語の問い合わせフォームをホームページ上に掲出、その他、留学生向け情報サイトに入試情報を掲載した。

⑤ 学生支援

- 1) 学修支援及び学修環境改善のため、学部1、3年生、修士課程1年生に対し「学生生活実態調査」を実施し、寄せられた意見を関係部署で共有した。
- 2) 従来博士後期課程学生のみを対象としていた研究支援職員の業務を、修士課程学生や学部学生にまで広げることとし、次年度からの実施準備を行った。
- 3) 障がい学生からの修学支援申請に基づき、障がい学生支援委員会の決定のもと支援を実施した。支援にあたり、対象学生に対し、入学前及び学期末に面談を実施し、支援内容の調整を行った。
- 4) 学生支援として、入学奨学金、家計急変者奨学金の給付及び複数就学者授業料減免を対象学生に実施した。また、成績優秀者に対し、特別特待奨学金、給付奨学金の授与を実施した。
- 5) 学生のメンタルヘルスケアについて、学生相談室での対面・オンライン2種類のカウンセリングを引き続き実施した。
- 6) 学生による実行委員会が4年ぶりに開催した芸術祭（学園祭）の運営を、次年度以降への引継ぎ業務を含め、支援した。
- 7) 学修サポーター及び西洋音楽史の授業との連携で付属図書館オンラインガイドランス等を実施した。また、付属図書館改修工事中においては、A館サテライト、クリエイティブラボ及び仮設図書館（書庫）の3地点を結んでサービスを行った。

⑥ 研究及び研究支援

- 1) 2023年度競争的資金の獲得実績として、科学研究費助成事業において新規2件、文化庁「大学における文化芸術推進事業」において継続1件の採択を受けた。また、2024年度は、科学研究費助成事業に9件、文化庁「大学における文化芸術推進事業」に1件（継続事業）の応募を行った。
- 2) 東京音楽大学競争的資金獲得促進に係る支援に関する内規に基づき、科研費等競争的資金の公募に採択された本学研究者に対し、必要に応じて当該研究活動の遂行に必要な研究補助者の採用等の人的支援を実施することができることとし、研究活動に係る人的支援の推進体制を整備した。
- 3) 科学研究費助成事業への応募者に対し、不採択の場合においても、一定の条件下で研究奨励金を支給した。本学における競争的資金獲得のモチベーション向上の一助とした。
- 4) 前年度までの方針を継承し、多様な研究員を受け入れることにより、本学の研究実施体制を強化し、研究活動の活性化を図っている。本年度の業績としては、外国人研究員1名の受け入れを行った。
- 5) 付属民族音楽研究所編による職務著作『ガムラン入門』を刊行し、同研究所の研究成果を広く社会に発信した。

- 6) 2022年度より千葉大学大学院医学研究院と演奏家の演奏動作に関する共同研究契約を締結した。研究実施期間は2026年3月31日までの予定。

⑦ 教員・職員

- 1) 教学マネジメント会議の下に「教育目的再検討小委員会」を設置し、教育目的の見直し作業を進めた。学修成果の可視化と教育改善へのフィードバックの方法等について協議を行ったほか、部門ごとに専任教員による教学主任を配置し、事務局職員との実務者会議を設け、教職員間の意見交換・情報共有を促進した。
- 2) 「非常勤教員の契約期間に関する規程」を改正し、教員の「雇用」については、継続雇用を含め、75歳を上限とし、それを超えて講座・レッスンを委嘱する場合は、「業務委託契約」への転換を規定化した。
- 3) 2023年度から「専任教員給与規程」を施行・運用開始し、各教員の業績報告に基づく勤務評価を実施、2024年度基本給の査定に反映した。
- 4) 事務局体制強化のため、契約・パート職員からの登用を含む専任職員、専門嘱託職員を若干名採用した。
- 5) 12月にSD研修を実施した。内容は「新専攻と拡充専攻の教育内容について」等。

⑧ 地域連携・社会貢献活動

- 1) 目黒区との連携では、「ナカメをデザインする会議」準備会において「ナカメ未来ビジョン」（令和6年3月公表）策定への参画するとともに、SDGs推進学生委員会が「ローカルメディア制作」のプレ活動に参加した。
豊島区との連携では、豊島区が地元企業等でつくる企業連携プラットフォーム「チームとしま」への参加等を進めた。
また、従来通り、目黒区、豊島区、埼玉県北本市との連携講座、区・市民向けコンサート開催等の地域活動を実施した。
- 2) 本学が主催する社会人講座を次のとおり実施し、いずれも受講者から好評を博した。
 - ・指揮研修講座
 - ・社会人ピアノ個人レッスン
 - ・民族音楽研究所の社会人講座（ガムラン講座、社会人特別講座、アンサンブル等講座）
- 3) 付属音楽教室は、ホームページのリニューアル、臨時入室試験の導入により、在室生数は昨年度比で大幅増となった。付属音楽教室から付属高等学校へ進学する生徒も増加した。
- 4) 付属オーケストラ・アカデミーを「TCMオーケストラ・アカデミー」（以下、「オケアカ」）と改称し、受託コンサートの拡充、プロオケとのコンタクトによる情報収集、オケアカ生とのミーティングによる演奏指導方法の再検討など、さらなる充実を図った。

(2)東京音楽大学付属高等学校に関する計画

① 生徒確保

推薦入試の定員を上げ、新たな志願者層の掘り起こしと早期の入学生徒確保を図り、出願者数の大幅増を達成した。

② 教育活動

- 1) 2024年度入学者からの教育課程変更、時間割について検討し、学習指導要領改訂に応じた体制強化の準備を行った。
- 2) 一般教科の教育内容の充実を図るため、国語と理科の専任教諭を採用した。
- 3) 音楽科教諭の研修の一環として、大学のソルフェージュ科目授業の見学及び高大連携業務の就業経験を行った。
- 4) 高大一貫教教育方針を踏まえた専門教育改革を推進するため、付属高校生の大学の授業履修について検討し、問題点を整理した。
- 5) 教諭の人事評価の在り方について、法人との検討を行った。

③ 生徒支援・進路

- 1) 法人の安全管理担当者会議において、危機管理マニュアルの見直し、学習環境の検評価を行った。また、生徒からの学習環境等に係る意見・要望を検討・対応した。
- 2) 生徒による各種委員会の支援を実施。また、本校の魅力を生徒が自発的に発信する「プロモーション・リーダズ」の活動を指導した。
- 3) 生徒のメンタルケアを含む健康相談及び保護者対応を行なった。
- 4) 高大連携センターによる大学説明会を付属高校2年生を対象に実施し、内部進学への理解を深めた。
- 5) 2023年度卒業生の85%が本学に内部進学した。

④ 東京音楽大学付属高等学校ビジョン(仮称)の策定

「東京音楽大学付属高等学校ビジョン(仮称)」の策定は、大学ビジョンとの整合性をふまえ、次年度に継続検討予定。

(3) 東京音楽大学付属幼稚園に関する計画

① 園児確保

- 1) 未就学児とその保護者を対象にした体験保育「ピッコロランド」毎月(3月を除く)実施し、入園につなげるための工夫を図った。
- 2) 広報活動として、ホームページでの発信以外に、出願シーズンに駅及び都電車内の窓上にポスターを掲出した。入園・卒園式等の動画を広報活動に利用について検討した。

② 教育活動

- 1) 幼稚園教育要領に基づいた各領域の調和がとれたカリキュラムを構築するため、毎月カリキュラム検討会議を実施した。
- 2) 音楽大学の設置学校であることを活かし、合唱、オペレッタ、器楽演奏、鼓笛指導を行い、3学期に成果を披露する演奏会を開いた。
- 3) 直接雇用の外国人講師による英語早期教育を実施したが、より幼稚園児に特化した英語教育の在り方を多角的に検討し、英語教育会社との法人提携契約に切り替えることを決定した。
- 4) 昨年度に引き続き、放課後課外授業として、「絵画造形教室」「英語教室」「体操教室」「学研プレイルーム」を実施した。

③ 園児支援

- 1) 園舎耐震工事の準備を進めると共に、仮園舎の運用について計画した。
- 2) 法人の安全管理担当者会議において、「幼稚園危機管理マニュアル」を策定した。
- 3) 預かり保育園児の増加に伴うスタッフ確保、保護者対応用連絡アプリ導入等、引き続き安定した運営を図った。

④ 東京音楽大学付属幼稚園ビジョン(仮称)の策定

今後の方向性や将来像を明確に示すための「東京音楽大学付属幼稚園ビジョン(仮称)」策定は次年度への課題となった。

(4) 学校法人運営に関する計画

① 法人経営

- 1) 「東京音楽大学ガバナンス・コード適合状況に係る点検・確認に関する方針（2021年10月13日制定）」に沿った点検・確認を実施するとともに、評議員会及び理事会に報告の上、「適合状況調査報告書」を2023年3月にホームページ上に掲出した。
- 2) 2025(令和7)年4月1日施行の改正私立学校法に対応し、理事・理事会及び評議員・評議員会の権限分配の明確化及び監事のチェック機能の強化等の趣旨を踏まえながら、寄附行為案の作成に着手した。
- 4) 事務局人員配置を総合的に見直すと共に、監査室(1名)の配置を含め、コンプライアンス遵守とガバナンス強化を図った。
- 5) 2023年度に新設した「高大連携センター」を中心に、大学と設置学校(附属高校、附属幼稚園)の、定期的な情報共有を行い、次年度以降も引き続き連携の促進を図る。

② 財務基盤

- 1) 中期財務計画に基づき中期計画と一体となった予算編成を行い、合理的な予算執行を実現することにより、適切な財務運営を推進する。また、本学を取り巻く経営状況の変化に伴い、中長期財務計画の適宜検証・見直しを実施する。
- 2) 社会人講座の充実に力を注ぐと共に、東京都教育委員会からの「令和5年度得意な才能を伸ばす教育(芸術)プロジェクト」、目黒区教育委員会からの「目黒南中学校(第七中学校・第九中学校の統合新校)校歌作成プロジェクト」、長永スポーツ工業株式会社からの「55周年記念社歌コンテストに係る受託業務」を受託した。
- 3) 予算準拠主義の徹底を図り、職員超過勤務時間の削減を実施した。また、専任教員の各種手当については、原則として専任教員給与規程の「業績評価点」に移行する準備を行った。

③ 運営基盤

- 1) 「非常勤教員給与表」4その他の規定を中心に、東京都最低賃金の改正に伴う時間単位の改正、各種支援作業単価の改正、附属高校授業時間に伴うコマ単価改正等を3回にわたり実施した。
- 2) 専任教員給与規程は予定通り、施行・運用を行った。

④ 監査機能

- 1) 会計監査人の協力を得て、内部監査プロセスを確立し、適切な会計監査を実施した。

⑤ 施設環境の整備

「東京音楽大学ビジョン」に掲げるクリエイティブ・キャンパス構想実現のため、「池袋キャンパス総合整備計画(第1次-第5次)」のうち、附属図書館の改修工事を実施。耐震性と機能性の向上を図った。旧豊島区立文成小学校に設置した附属図書館の仮設書庫及び事務室は撤収し、次年度の附属幼稚園仮園舎の設置を準備した。

⑥ 環境保全、人権、安全への配慮

- 1) 「安全管理担当課会議」を月1回に定例化し、設置学校ごとの「危機管理マニュアル」並びに本学の安全管理方針を網羅した「学校法人東京音楽大学安全衛生管理規程」の策定を行った。また、防災訓練実施に当たっては、計画書と報告書の様式を整備した。なお、法人としての「事業継続計画（BCP）」及び「大学危機管理マニュアル」については、継続検討中。
- 2) 安全衛生面の管理強化のため、中目黒で統一開催していた「衛生委員会」を、両キャンパスで開催することとし、池袋キャンパス内の大学、設置学校、寮の安全衛生に関する情報共有をより丁寧に行うこととした。2024年度以降、副学長が付属高校長を兼務することとなったため、学校運営面で、理事会情報の共有環境が整うこととなる。
- 3) 環境方針、SDGs施策及びこれらに関する活動の周知・広報について、SDGs学生委員会と社会連携課とが連携して進めた。「教養演習」履修の4年生学生から学内での省エネ施策の提案があり、SDGs推進センター会議において発表。次年度以降にも引き継ぐよう勧めることとした。
- 4) 東京都地球温暖化防止活動推進センターによる省エネ診断を受診し、現状の分析を行った。これにより各建物について改善すべき課題を確認した。
- 5) 本学の構成員のすべてが、学業、課外活動、教育研究等の活動やそれらを支える様々な業務を行う上で個人として尊重される環境を整える「東京音楽大学人権に関する方針（仮称）」の策定については継続課題とした。

⑦ 法令遵守

- 1) 学校法人東京音楽大学寄附行為をはじめとした諸規程等について、教職員に周知するとともに、各人の意識向上を図り、現行規程の条文の見直しを行い、適宜更新し、現状に適合するよう整備を進めた。
- 2) 研究不正を防ぐため、文科省「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」に基づく本学の不正防止体制を「研究不正防止ハンドブック」へ収録し、学内に周知した。
- 3) 公益通報者の保護と法令遵守の向上を図るために、公益通報者保護規程について、関連規程の更新と共に引き続き周知に努めた。
- 4) 学内の情報セキュリティに関する意識の向上を図るとともに、体制を強化した。

⑧ 情報公開

- 1) 法定の情報公開を関係部署と連携のもと、期日内に公表した。
- 2) IR情報として、FACTBOOK2023年版をホームページ上で公開した。
- 3) 創立120周年に向けて本学の魅力を発信し、大学の研究活動をより公開するために、学部専攻の紹介ページのリニューアル準備を始めた。

3. その他

(1) 「第1回野島賞」の選定

国内外の学術研究または演奏活動において顕著な業績を挙げ、本学の名誉を高めた者の功績を讃える趣旨で、野島稔前学長の名前を冠した「野島賞」を創設した。第1回の受賞者に2020年3月卒業のピアニスト藤田真央氏を選定。10月26日(木)16:00より本学TCMホールにて授与式を行った。

(2) 退任コンサート・最終講義の実施

今年度より、退任する教授による退任コンサート及び最終講義を大学主催で実施し、コンサートについてはシリーズ化して広報に努めた。TCMホールで開催された退任コンサートの実績は以下の通り。

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/information/34378.php>

Ⅲ.財務の概要

1. 決算の概要

2023年度「第Ⅱ期中期計画」の2年次目であり、コロナ禍等各種制約が落ち着く中、教育の質を維持する諸施策について取組み、多大な成果を挙げることができた。

「池袋キャンパス総合整備計画（第1次～5次）」の第4・5次と位置付けた附属図書館とC館の改修整備は、計画通り遂行した。

予算編成及び執行について、「学生本位」の信条のもと、編成重点方式採用と、執行についても、必要性の是非を検討しつつ、きめ細かく実施した。

(1) 貸借対照表の状況

法人全体の総資産は389億円となり、前年度より24億円減少となっている。

○有形固定資産：△155百万円

- ・軽井沢寮敷地 売却 △85百万円
- ・民族音楽研究所敷地 売却 △64百万円
- ・野尻寮敷地 売却 △56百万円
- ・図書館・幼稚園等改修整備工事 573百万円 他減価償却費等

○固定負債：△841百万円

- ・長期借入金の減少（元本返済による）、退職給与引当金の減少。

貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位：百万円)

■資産の部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	36,251	36,493	△ 242
有形 固 定 資 産	27,890	28,045	△ 154
土 地	9,978	10,183	△ 205
建 物	16,650	16,478	172
構 築 物	67	73	△ 6
教育研究用機器備品	252	240	12
管理用機器備品	43	131	△ 88
図 書	807	800	6
車 輜	0	0	0
建設仮勘定	92	137	△ 44
特 定 資 産	1,303	1,336	△ 32
第3号基本金引当特定資産	224	221	2
退職給与引当特定資産	1,079	1,115	△ 35
その他の固定資産	7,056	7,110	△ 54
借 地 権	2,515	2,515	0
電 話 加 入 権	0	0	0
有 価 証 券	4,482	4,482	0
排 出 権	3	3	0
商 標 権	20	24	△ 4
ソフトウエア	34	82	△ 48
長期前払金	0	2	△ 1
流動資産	2,605	2,607	△ 1
現 金 預 金	2,248	2,402	△ 153
未 収 入 金	333	187	145
前 払 金	23	17	6
立 替 金	0	0	0
仮 払 金	0	0	0
資産の部 合計	38,856	39,100	△ 243

■負債の部

(単位：百万円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	8,998	9,840	△ 841
長期借入金	7,915	8,720	△ 804
退職給与引当金	1,079	1,115	△ 35
長期未払金	1	2	△ 1
長期前受金	2	3	0
流動負債	1,890	1,369	520
短期借入金	804	785	18
未 払 金	403	371	31
前 受 金	640	174	465
預 け 金	42	37	4
負債の部 合計	10,888	11,210	△ 321

■純資産の部

(単位：百万円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	35,972	35,033	938
第1号 基本金	35,465	34,530	935
第3号 基本金	224	221	2
第4号 基本金	282	282	0
繰越収支差額	△ 8,004	△ 7,143	△ 860
翌年度繰越収支差額	△ 8,004	△ 7,143	△ 860
純資産の部 合計	27,967	27,890	77
負債及び純資産の部 合計	38,856	39,100	△ 243

(2) 収支計算書の状況

本資料については、百万円で表示する際に、百万円未満を切り捨てているため、合計などにおいて計算書類と一致しない場合があります。

資金収支計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

収入の部

(単位：百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,397	3,407	△ 10
手数料収入	25	24	0
寄付金収入	56	41	14
補助金収入	558	559	△ 1
資産売却収入	291	306	△ 15
付随事業・収益事業収入	47	40	6
受取利息・配当金収入	98	98	0
雑収入	190	214	△ 24
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	715	639	75
その他の収入	1,223	1,523	△ 299
資金収入調整勘定	△ 325	△ 508	183
前年度繰越支払資金	2,402	2,402	
収入の部 合計	8,680	8,750	△ 70

支出の部

(単位：百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,527	2,545	△ 17
教育研究経費支出	1,111	1,028	82
管理経費 支出	264	216	47
借入金等利息支出	33	33	0
借入金等返済支出	785	785	0
施設関係支出	598	528	69
設備関係支出	113	92	20
資産運用支出	3	26	△ 23
その他の支出	1,422	1,663	△ 240
〔予 備 費〕	50		50
資金支出調整勘定	△ 215	△ 419	203
翌年度繰越支払資金	1,985	2,248	△ 262
支出の部 合計	8,680	8,750	△ 70

本資料については、百万円で表示する際に、百万円未満を切り捨てているため、合計などにおいて計算書類と一致しない場合があります。

活動区分資金収支計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：百万円)

教育活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	学生生徒等納付金収入	3,407
		手数料収入	24
		特別寄付金収入	38
		經常費等補助金収入	441
		付随事業収入	40
		雑収入	214
		教育活動資金収入計	4,168
	支出	人件費支出	2,545
		教育研究経費支出	1,028
		管理経費支出	216
		教育活動資金支出計	3,791
	差引		376
	調整勘定等		472
教育活動資金収支差額		848	
施設整備等活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	施設設備寄付金収入	2
		施設設備補助金収入	118
		施設設備売却収入	306
		施設整備等活動資金収入計	427
	支出	施設関係支出	528
		設備関係支出	92
		施設整備等活動資金支出計	621
	差引		△ 193
	調整勘定等		△ 126
	施設整備等活動資金収支差額		△ 320
	小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）		528

科 目		金 額
その他の活動による資金収支	第3号基本金引当特定資産取崩収入	24
	退職給与引当特定資産取崩収入	35
	預り金受入収入	1,217
	立替金回収収入	5
	仮払金回収収入	51
	小計	1,334
	受取利息・配当金収入	98
	その他の活動資金収入計	1,433
	借入金等返済支出	785
	第3号基本金引当特定資産繰入支出	26
	立替金支払支出	5
	仮払金支払支出	51
	預り金支払支出	1,212
	小計	2,083
	借入金等利息支出	33
	その他の活動資金支出計	2,116
	差引	△ 682
	調整勘定等	0
その他の活動資金収支差額		△ 682
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）		△ 153
前年度繰越支払資金		2,402
翌年度繰越支払資金		2,248

活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。

(単位：百万円)

項 目	資金収支 計算書計上額	教育活動 による資金収支	施設整備等活動 による資金収支	その他の活動 による資金収支
前受金収入	639	639	0	0
前期末 未収入金収入	188	157	4	26
期末 未収入金	△333	△189	△118	△25
前期末 前受金	△174	△174	0	0
収入計	319	433	△113	0
前期末 未払金支払支出	371	295	75	0
前払金支払支出	21	19	0	2
期末 未払金	△402	△338	△63	0
前期末 前払金	△17	△14	0	△2
支出計	△26	△39	12	0
収入計 － 支出計	346	472	△126	0

事業活動収支計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

■教育活動収支

(単位：百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	3,397	3,407	△ 10
手数料	25	24	0
寄付金	56	39	16
経常費等補助金	429	441	△ 11
付随事業収入	0	14	△ 14
雑収入	190	216	△ 25
教育活動収入計	4,098	4,144	△ 46
人件費	2,511	2,509	1
教育研究経費	1,574	1,487	87
管理経費	420	399	21
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	4,506	4,396	110
教育活動収支差額	△ 408	△ 251	△ 156

■教育活動外収支

(単位：百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
受取利息・配当金	98	98	0
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	98	98	0
借入金等利息	33	33	0
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	33	33	0
教育活動外収支差額	65	65	0
経常収支差額	△ 343	△ 186	△ 157

■特別収支

(単位：百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
資産売却差額	36	173	△ 137
その他の特別収入	129	186	△ 57
特別収入計	165	360	△ 195
資産 処分 差額	19	96	△ 77
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	19	96	△ 77
特別収支差額	146	263	△ 117

〔予 備 費〕	50		50
基本金組入前当年度収支差額	△ 247	77	△ 324
基本金組入額合計	△ 747	△ 938	191
当年度収支差額	△ 994	△ 860	△ 133
前年度繰越収支差額	△ 6,633	△ 7,143	510
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 7,627	△ 8,004	376
事業活動収入計	4,361	4,603	△ 241
事業活動支出計	4,609	4,525	83

2. 基本金明細表・主な財務比率

本資料については、百万円中表示する際に、百万円未満を切り捨てているため、合計などにおいて計算書類と一致しない場合があります。

基本金明細表

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：百万円)

		要組入高	組入高	未組入高
第1号基本金	前期繰越高	42,887	34,530	8,357
	当期組入高	289	935	△ 646
	当期末残高	43,176	35,465	7,710
第3号基本金	前期繰越高	—	221	—
	当期組入高	—	2	—
	当期末残高	—	224	—
第4号基本金	前期繰越高	282	282	—
	当期組入高	—	—	—
	当期末残高	282	282	—
合 計	前期繰越高	—	35,033	8,357
	当期組入高	—	938	—
	当期末残高	—	35,972	7,710

財務比率

■ 事業活動収支関係財務比率

(単位：％)

比率項目	算出基準	評価	2021年度	2022年度	2023年度
人件費比率	人件費/経常収入	▼	63.03	60.17	59.15
人件費依存率	人件費/学生生徒等納付金	▼	76.72	74.14	73.65
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	△	33.84	36.52	35.05
管理経費比率	管理経費/経常収入	▼	10.82	9.39	9.41
寄付金比率	寄付金/事業活動収入	△	0.34	2.10	2.34
補助金比率	補助金/事業活動収入	△	5.51	10.15	12.16
基本金組入率	基本金組入額/事業活動収入	△	0.04	18.14	20.39

■ 貸借対照表関係財務比率

(単位：％)

比率項目	算出基準	評価	2021年度	2022年度	2023年度
固定資産構成比率	固定資産/総資産	▼	92.12	93.33	93.29
有形固定資産構成比率	有形固定資産/総資産	▼	69.77	71.73	71.78
特定資産構成比率	特定資産/総資産	△	3.34	3.42	3.36
流動資産構成比率	流動資産/総資産	△	7.88	6.67	6.71
固定負債構成比率	固定負債/総負債+純資産	▼	26.09	25.17	23.16
流動負債構成比率	流動負債/総負債+純資産	▼	4.88	3.50	4.86

3. 財産目録

本資料については、百万円を表示する際に、百万円未満を切り捨てているため、合計などにおいて計算書類と一致しない場合があります。

財産目録

2024年3月31日現在

(単位：百万円)

I. 資産総額	38,856
内 (一) 基本固定資産	36,251
(二) 運用財産	2,605
II. 負債総額	10,888
III. 正味財産	27,967

(単位：百万円)

I. 資産総額		
(一) 基本固定資産		
1. 土地	43,882.82 m ²	9,978
2. 建物	48,490.46 m ²	16,650
3. 構築物		67
4. 教育研究用機器備品	3,963 件	252
5. 管理用機器備品	1,020 件	43
6. 図書	331,168 冊・点	807
7. 車両		0
8. 建設仮勘定		92
9. 借地権	7,149.75 m ²	2,515
10. 電話加入権	4 件	0
11. 有価証券		4,482
12. 特定資産		1,303
13. 排出権		3
14. 商標権		20
15. ソフトウェア		34
16. 長期前払金		0
(二) 運用財産		
1. 現金・預金		2,248
2. 未収入金		333
3. 前払金		23
4. 立替金		0
5. 仮払金		0
資産の部	合計	38,856

(単位：百万円)

II. 負債総額	
(一) 固定負債	
1. 長期借入金	7,915
2. 長期未払金	1
3. 退職給与引当金	1,079
4. 長期前受金	2
(二) 流動負債	
1. 未払金	403
2. 短期借入金	804
3. 前受金	640
4. 預り金	42
負債の部	合計
	10,888

(単位：百万円)

III. 正味財産	27,967
-----------	--------

IV. 資料

1. 2022 年度 公的研究費等 獲得一覧

(1) 科学研究費助成事業（研究代表者）

研究種目	課題番号	研究代表者	職名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(C)	24K03540	福田裕美	准教授	民俗芸能の伝承コミュニティと社会包摂機能に着目したアートマネジメント論の構築	2024	2027
基盤研究(C)	24K03541	石川晃士郎	講師	音楽大学におけるアントレプレナーシップ教育の有効性	2024	2028
基盤研究(C)	24K03566	大竹紀子	教授	ヘンリー・カウエルに観るアメリカ 20 世紀前衛音楽と日本人	2024	2026
基盤研究(C)	24K03588	小日向英俊	教授	アートマネジメントでつなぐ在日移民コミュニティ-インド・中国・ブラジル	2024	2026
基盤研究(C)	22K00133	武石みどり	教授	洋楽合奏から交響楽へー明治末期～昭和初期の洋楽受容史再考	2022	2024
基盤研究(C)	21K00118	下道郁子	准教授	明治・大正期の旧制高等学校の応援歌の研究ー集団歌唱の受容と変容	2021	2024
基盤研究(C)	21K00119	太田暁子	講師	女流義太夫に関する音楽学的基礎研究	2021	2024
基盤研究(C)	20K00133	藤田茂	教授	現代音楽のフォルムの想像力：メシアン・デュティユー・ブーレーズの言説と草稿の検証	2020	2024
基盤研究(C)	18K00140	小日向英俊	特任教授	在日インド系コミュニティの音楽とその動態	2018	2024
若手研究	23K12066	千葉伸彦	講師	アイヌ伝統音楽のソーシャルメディアを利用した新たな教授法	2023	2027
若手研究	20K12896	早坂牧子	准教授	三浦環の歌：録音と演奏評分析による 20 世紀初期日本人声楽家の歌唱スタイル考察	2020	2024
若手研究(B)	17K18128	福田裕美	准教授	民俗芸能公演をめぐるアートマネジメントの基礎的研究ー伝承と創造の観点から	2017	2024

(2) 科学研究費助成事業（研究分担者）

研究種目	課題番号	研究代表者	職名	研究課題名	採択年度	終了年度
基盤研究(B)	24K00018	武石みどり	教授	20 世紀序盤の東アジアにおけるピアノ産業と文化	2024	2028
基盤研究(B)	21H00497	千葉伸彦	教授	機械学習による録音データ分析に基づく民俗音楽歌唱の歌唱方法の解明および復元 (代表機関：北海道医療大学)	2021	2025
基盤研究(C)	24K03588	淵上ラファエル広志	講師	アートマネジメントでつなぐ在日移民コミュニティ-インド・中国・ブラジル	2024	2026

(3) 文化庁補助事業

補助事業	事業統括	職名	事業名	初年度	最終年度
大学における 文化芸術推進事業	福田裕美	准教授	伝承を担うフィールドからまなび、ともにつくり、地域へつなぐアートマネジメント人材育成 ー伝統音楽・芸能の地域レガシーによる新たな価値創出を目指してー	2022	2024

※採択額：1,350万円（2023年度）

2. 2023年度演奏会記録

(1) 東京音楽大学主催演奏会

開催日	演奏会名	場所
2023年7月13日（木）	東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル特別・定期演奏会	ウェスタ川越 大ホール
2023年7月14日（金）	東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル特別・定期演奏会 https://youtu.be/KD_HzXuqT3g	東京芸術劇場 コンサートホール
2023年7月31日（月）	ピアノ演奏会 ～ピアノ演奏家コース成績優秀者による～ Ⅰ： https://youtu.be/4GV7IV2vRqE Ⅱ： https://youtu.be/mp2U3IEU1Uo Ⅲ： https://youtu.be/ueZXwE9oIQo	東京文化会館 小ホール
2023年9月9日（土）	第13回 声楽教員によるコンサート https://youtu.be/WCwJzcGzkDk	本学100周年記念ホール
2023年9月16日（土）	第2回 ピアノ教員による Collaborative Piano Concert https://youtu.be/emNR776-6E	本学TCMホール
2023年9月23日（土祝）	学内オーディション合格者による ソロ・室内楽定期演奏会 https://youtu.be/H7PhkR8Mgqs	本学TCMホール
2023年9月30日（土）	第15回 ピアノ教員によるコンサート https://youtu.be/lm_M2jV6rHE	本学TCMホール
2023年10月1日（日）	東京音楽大学コンクール優勝者コンサート https://youtu.be/S-P2wS_5ZSo	本学TCMホール
2023年11月23日（木祝）	学内「第九」演奏会	本学100周年記念ホール
2023年12月5日（火）	東京音楽大学シンフォニーオーケストラ定期演奏会	東京芸術劇場 コンサートホール

藤田医科大学との共催の演奏会

開催日	演奏会名	場所
2023年4月16日（日）	東京音楽大学×藤田医科大学 コラボレーション・セミナー Vol.1 わたしのカラダの「現在」を知る。	本学TCMホール
2023年6月18日（日）	東京音楽大学×藤田医科大学 コラボレーション・セミナー Vol.2 どうする？どうなる？音楽大学×医科大学	本学100周年記念ホール
2023年8月20日（日）	東京音楽大学×藤田医科大学 コラボレーション・セミナー Vol.3 外科医×ロボットが奏でるハーモニー	本学TCMホール
2023年10月29日（日）	東京音楽大学×藤田医科大学 コラボレーション・セミナー Vol.4 健康を取り戻す再生医療を知る	大田文化の森
2023年12月27日（水）	東京音楽大学×藤田医科大学 コラボレーション・セミナー Vol.5 病気を引き寄せないカラダを知る	本学TCMホール
2024年2月24日（土）	東京音楽大学×藤田医科大学 コラボレーション・セミナー Vol.6 肌の季節ストレスを知る	本学TCMホール

（URLは該当の演奏動画）

(2) 外部団体からの出演依頼による演奏会

(管弦楽、吹奏楽、合唱)

開催日	演奏会名(主催)	場所	出演
2023 年 4 月 23 日 (日)	第 12 回避難訓練コンサート (目黒区文化芸術振興財団)	めぐろパーシモン ホール 大ホール	シンフォニックウインド アンサンブル
2023 年 4 月 28 日 (金)	第 749 回東京定期演奏会<春季> (日本フィルハーモニー交響楽団)	サントリーホール	合唱団 (共演: 日本フィル ハーモニー交響楽団)
2023 年 4 月 29 日 (土)			
2023 年 5 月 20 日 (土)	第 387 回横浜定期演奏会<春季> (日本フィルハーモニー交響楽団)	横浜みなとみらい ホール	合唱団 (共演: 日本フィル ハーモニー交響楽団)
2023 年 5 月 21 日 (日)	第 400 回名曲コンサート (日本フィルハーモニー交響楽団)	サントリーホール	合唱団 (共演: 日本フィル ハーモニー交響楽団)
2023 年 7 月 7 日 (金)	第 752 回東京定期演奏会<春季> (日本フィルハーモニー交響楽団)	サントリーホール	合唱団 (共演: 日本フィル ハーモニー交響楽団)
2023 年 7 月 8 日 (土)			
2023 年 7 月 29 日 (土)	第 9 回こどもの夢ひろば“ボレロ” (こどもの夢ひろば“ボレロ”実行委員会、仙台市、 河北新報社)	日立システムズ ホール仙台 コンサートホール	オーケストラ有志学生
2023 年 7 月 30 日 (日)			
2023 年 9 月 3 日 (日)	癒しの森コンサート 2023 (東京音楽大学・信濃町)	タングラム斑尾 東急リゾート ホテルタングラム	シンフォニー オーケストラ
2023 年 10 月 21 日 (土)	第 22 回みないけコンサート (豊島区立南池袋小学校)	本学 100 周年記念 ホール	シンフォニック ウインドアンサンブル
2023 年 11 月 3 日 (金 祝)	第 755 回東京定期演奏会 (日本フィルハーモニー交響楽団)	サントリーホール	合唱団 (共演: 日本フィル ハーモニー交響楽団)
2023 年 11 月 4 日 (土)			
2023 年 11 月 4 日 (土)	第 14 回 音楽大学オーケストラフェスティバル (音楽大学オーケストラフェスティバル実行委員会)	東京芸術劇場 コンサートホール	シンフォニー オーケストラ (共演: 東京藝術大学)
2023 年 11 月 12 日 (日)	マエストロの白熱教室 2023 指揮者・広上淳一の音楽道場	フィリアホール	指揮学生、指揮教員、器 楽学生有志オーケスト ラ
2023 年 12 月 16 日 (土)	第 393 回横浜定期演奏会 (日本フィルハーモニー交響楽団)	横浜みなとみらい ホール	合唱団 (共演: 日本フィル ハーモニー交響楽団)
2023 年 12 月 21 日 (木)	「第九」交響曲特別演奏会 2023 (日本フィルハーモニー交響楽団)	横浜みなとみらい ホール	合唱団 (共演: 日本フィル ハーモニー交響楽団)
2023 年 12 月 22 日 (金)		サントリーホール	
2024 年 3 月 30 日 (土)	第 13 回 音楽大学フェスティバルオーケストラ (音楽大学オーケストラフェスティバル実行委員会)	東京芸術劇場 コンサートホール	9 音楽大学選抜学生
2024 年 3 月 31 日 (日)		ミューザ川崎 シンフォニーホール	

(アンサンブル、ソロ)

開催日	演奏会名(主催)	場所	出演
2023年4月23日 (土)	読売中部新人演奏会 (読売新聞社)	三井住友海上しらかわホール	声楽
2023年5月1日 (月)	第24回新人演奏会 (日本ピアノ調律師協会関東支部)	東京文化会館 小ホール	ピアノ
2023年5月4日 (木)	ラ・フォル・ジュルネTOKYO 2023 マスタークラス (ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2023 運営委員会)	東京国際フォーラム ホールB5	ピアノ
2023年5月5日 (金)			ヴァイオリン
2023年5月6日 (土)			
2023年6月14日 (水)	ヤマハ管楽器新人演奏会 (ヤマハミュージックジャパン)	ヤマハホール	クラリネット
2023年6月15日 (木)			フルート
2023年6月16日 (金)			トロンボーン
2023年10月15日 (日)	30周年記念 めぐろ童謡コンサート (童謡の里めぐろ保存会)	めぐろパーシモン ホール 大ホール	声楽
2023年11月15日 (水)	豊島消防署 防火のつどい 防火演奏会 (豊島消防署)	としま区民センター 8階 多目的ホール	声楽
2023年11月23日 (木祝)	イケビズフェスタ2023 (としまのちから)	としま産業振興 プラザ IKE・Biz	トロンボーン四重奏

(アンサンブル、ソロ [連続企画])

開催日	演奏会名(主催)	場所	出演
2023年5月10日 (水)	庁舎ランチタイムコンサート in としま区民センター (としま未来文化財団・豊島区)	としま区民センター 8階多目的ホール	打楽器アンサンブル
2023年6月14日 (水)			木管五重奏
2023年7月26日 (水)			声楽
2023年9月13日 (水)			金管五重奏
2024年1月31日 (水)			ピアノ三重奏
2023年5月25日 (木)	北本市文化センターコンサート (北本市文化センター)	北本市文化センター ホール	弦楽四重奏
2023年7月21日 (金)			ピアノ
2023年9月28日 (木)			声楽
2024年1月18日 (木)			打楽器アンサンブル
2024年3月21日 (木)			サクソフーン四重奏
2023年6月7日 (水)	区民ひろば回遊キャラバン (豊島区)	区民ひろば南大塚	声楽
2023年7月5日 (水)		区民ひろば仰高	弦楽四重奏
2023年10月18日 (水)		区民ひろば池袋	ピアノ
2023年12月13日 (水)		区民ひろば高松	声楽
2024年1月10日 (水)		区民ひろば要	木管アンサンブル
2024年2月14日 (水)		区民ひろば上池袋	打楽器アンサンブル
2024年3月13日 (水)		区民ひろば池袋本庁	金管五重奏
2023年6月28日 (水)	東京音楽大学 表参道 サロンコンサート (カワイ音楽振興会)	カワイ表参道 コンサートサロン 「パウゼ」	ピアノ
2023年10月19日 (木)			
2023年12月20日 (水)			
2024年2月15日 (木)			

3. 国際交流センター催事一覧

開催日	催事
2023年4月10日(月)	アドリアン・エレート 声楽公開レッスン
2023年4月19日(水)	ローナン・オホラ ピアノ公開レッスン
2023年5月16日(火)	ウエストモント大学 合唱交流演奏会
2023年5月24日(水)	顧鈞豪 作曲公開講座
2023年6月1日(木) ～6月15日(木)	エリソ・ヴィルサラゼ ピアノ個人レッスン
2023年6月6日(火)	イ・キョンソン ヴァイオリン公開レッスン
2023年6月7日(水)	エリソ・ヴィルサラゼ ミニコンサート・ピアノ公開レッスン
2023年6月19日(月)	ルイス・クラレット チェロ公開レッスン
2023年6月27日(火)	バーミンガム音楽院学長木管主幹教授 交流訪問
2023年7月27日(木) ～8月10日(木)	バイエルン青少年オーケストラ2023夏期
2023年9月11日(月)	カルロ・コロンバーラ 声楽公開レッスン
2023年11月8日(水)	ブジェミスル・ヴォイタ ホルン公開レッスン
2023年11月21日(火)	セプトゥーラ 金管7重奏ミニコンサート・公開レッスン
2023年11月21日(火)	ジョン・アクセルロッド 指揮公開レッスン
2023年11月22日(水)	ブータン王立大学パロ教育カレッジ学長 交流訪問
2023年12月13日(水)	ウズベキスタン国立音楽院学長 国立管弦楽団マネージャー等 交流訪問
2023年12月26日(火) ～2024年1月9日(火)	バイエルン青少年オーケストラ2023冬期
2024年2月15日(木)	ジャン＝ルイ・ボーマディエ ピッコロ公開レッスン
2024年3月13日(水)	テキサス工科大学 コルバーンミュージックアカデミー 交流訪問
2024年3月30日(土) ～4月12日(金)	ワールドユースオーケストラ ベトナムプロジェクト

4. キャリア支援センターイベント一覧

開催日	イベント名
2023/4/18(火)	超大切！まずは知ろう！ インターンシップガイダンス（池袋）
2023/4/26(水)	超大切！まずは知ろう！ インターンシップガイダンス（中目黒）
2023/5/1(月)	自衛隊音楽隊採用説明会
2023/5/8(月)	埼玉県警音楽隊採用説明会
2023/5/23(火)	25卒対象進路ガイダンス（池袋）
2023/5/26(金)	25卒対象進路ガイダンス（中目黒）
2023/6/7(水)	サクライ楽器講師採用説明会
2023/7/5(水)	就職筆記試験SPIとは？TCM SPIドリルガイダンス
2023/7/12(水)	【海外勤務志望者対象】ヤマハ音楽教室説明会
2023/9/13(水)	コロブラ採用説明会（サウンドクリエイター職）
2023/9/20(水)	後期就活スタートアップ講座
2023/10/20(金)	コナミ採用説明会（サウンドクリエイター職）
2023/11/21(火)	任天堂会社説明会
2023/11/25(土)	会社選びの基礎知識
2023/11/27(月)	日本オペラ振興会
2023/12/1(金)	カプコン採用説明会
2023/12/11(月)	二期会説明会
2023/12/19(火)	パソナ音楽島説明会
2024/1/11(木)	先輩の就活を聞く会 航空
2024/1/12(金)	先輩の就活を聞く会 銀行
2024/1/15(月)	先輩の就活を聞く会 コンサル
2024/1/15(月)	先輩の就活を聞く会 IT
2024/1/16(火)	先輩の就活を聞く会 ゲーム
2024/1/16(火)	2025年度ヤマハ音楽教育システム講師 講師募集説明会
2024/1/17(水)	音楽家・フリーランス（個人事業主）が知っておくべき インボイスの基礎

5. 付属図書館に関する資料

(1) 図書館の利用状況

①蔵書数

2023 年度	楽譜	和書	洋書	録音	映像	合計
	75,035	31,098	22,456	44,837	4,328	177,754
eBook(内数)	353	1,182				1,535

雑誌	電子ジャーナル	契約データベース
1,104 タイトル	85 タイトル	14 種類

② 開館日数、来館者数（池袋キャンパス図書館）

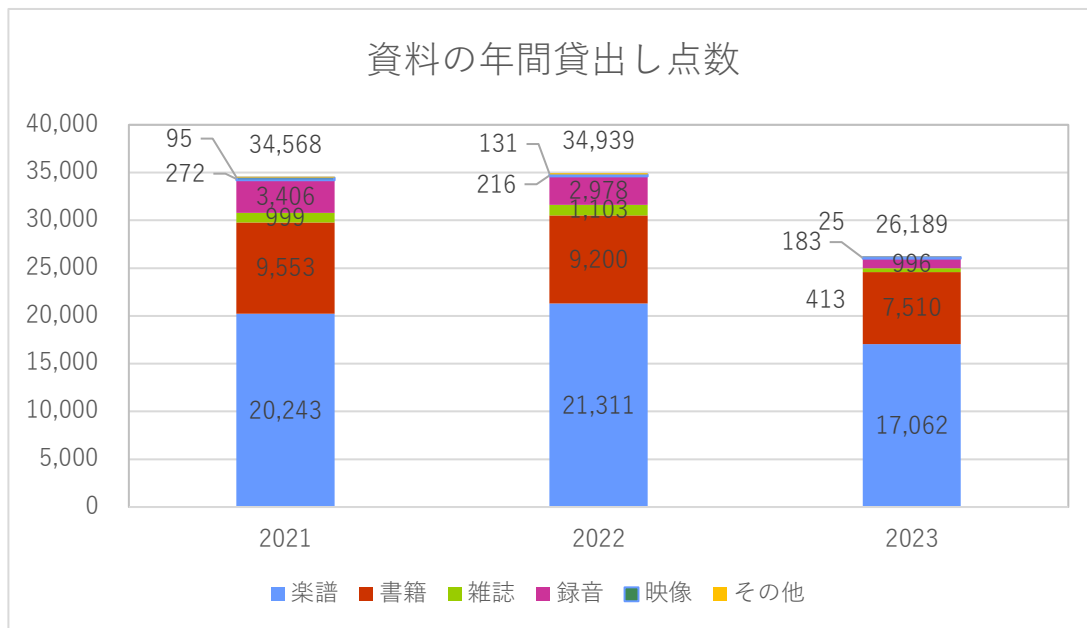
	開館日数	入館者数	
		総数	一日平均
2023 年度（※1）	236 日	－（※2）	－（※2）
2022 年度（※3）	237 日	22,534 人	95 人
2021 年度	258 日	22,279 人	86 人

（※1）2023 年度工事は、図書館改修工事のため 2/9～3/31 休館。

（※2）改修工事中の窓口「A 館図書館サテライト」は、入館者数記録無し。

（※3）2022 年度は、図書館改修工事のため 3 月は休館。

③資料の年間貸出点数の推移と利用率



※2023 年度は図書館改修工事に伴い、図書・雑誌の一部、特に CD は約 2/3 の利用を休止した。

	利用率		一人当たりの年間貸出点数	
	学部生	院生	学部生	院生
2023 年度	69%	75%	11 点	27 点
2022 年度	77%	86%	11 点	29 点
2021 年度	71%	77%	11 点	28 点

(2) ニッポニカ・アーカイヴ演奏譜貸出実績

今年度ニッポニカ・アーカイヴ・コレクションの演奏譜を使用して、開催された演奏会

公演日	演奏団体	会場	演奏曲
2023年12月15日(金)	音楽大学卒業試験演奏	—	紙恭輔《木琴協奏曲》
2024年2月7日(水)	Sinfonisches Orchester Mainz e.V.	Christuskirche, Mainz	伊福部昭《シンフォニア・タブカーラ》
2024年2月10日(土)	Sinfonisches Orchester Mainz e.V.	Gymnasium Theresianum, Mainz	伊福部昭《シンフォニア・タブカーラ》
2024年2月18日(日)	Dresden Philharmonic Orchestra	Kulturpalast Dresden	伊福部昭《シンフォニア・タブカーラ》
2024年2月23日(金)	みなとみらい21交響楽団	横浜みなとみらいホール 大ホール	伊福部昭《シンフォニア・タブカーラ》

(3) 2022 年度テーマ展示

図書館展示紹介サイト：<https://tokyo-ondai-lib.jp/exhibition/>

期間	展示内容	場所
2023年4月4日(火) ～7月3日(月)	ファクシミリ版シリーズ：ラフマニノフ (生誕150年)	クリエイティブラボ Study Areaショーケース
2023年4月4日(火) ～2024年度継続展示中	前学長野島稔旧蔵楽譜：ラフマニノフ/ ピアノとオーケストラのための 『バガニーニの主題による狂詩曲』 作品43	クリエイティブラボ Study Areaショーケース
2023年7月4日(火) ～2024年1月16日(火)	ファクシミリ版シリーズ：マックス・レーガー (生誕150年)	クリエイティブラボ Study Areaショーケース
2023年7月6日(木) ～10月31日(火)	「音大生の本棚2023」 (新入生向けの書籍80点を開架)	クリエイティブラボ Study Area展示書架
2023 年 9 月 15 日(金) ～2024 年 5 月 13 日	追悼 西村朗	クリエイティブラボ Study Area展示書架
2023年12月4日(月) ～12月26日(火)	ミニ展示「クリスマスの音楽」	クリエイティブラボ Study Area展示書架
2024年1月17日(水) ～2024年度継続展示中	ファクシミリ版シリーズ：ガブリエル・フォーレ (没後100年)	クリエイティブラボ Study Areaショーケース

(4) 図書館改修

図書館の耐震工事に伴い館内の大幅なレイアウト変更及び新機材を導入。



8. 付属民族音楽研究所催事等一覧

日時	講座名	会場
2023年8月8日(火)	イランのバグパイプ - ネイ・アンバーン Ney Anban -	A200教室
2023年9月9日(土)	文化庁「度東京音楽大学補助事業アートマネジメント人材育成」(2023年)「伝承を担うフィールドからまなび、ともにつくり、地域へつなぐアートマネジメント人材育成」東京音楽大学×民族文化映像研究所 記録映画「奥会津の木地師」上映会	B500教室
2023年11月27日(月)	チェンバロ・アヴァンギャルド -初期バロックと現代作品を集めて-	TCMホール
2024年2月24日(土)	ガムラン講座発表会	100周年記念ホール
2024年2月27日(火)	馬頭琴と尺八の対話 -音色の試み-	TCMホール
2024年2月28日(火)	文化庁「度東京音楽大学補助事業アートマネジメント人材育成」(2023年)「伝承を担うフィールドからまなび、ともにつくり、地域へつなぐアートマネジメント人材育成」企画制作研修報告会	オンライン
2024年2月29日(木)	社会人特別講座修了演奏会	TCMホール
2024年3月5日(火)	読書会『ガムラン入門』を読む	オンライン
2024年3月22日(金)	日本民謡における声の響き	TCMホール
2024年3月30日(土)	中世からルネサンス時代のスペイン音楽 ～歌とビウエラとリュートで探索してみよう！～	TCMホール